

会 議 録

|               |   |
|---------------|---|
| 会 議 の 名 称     | 行田市立地適正化計画 第6回策定委員会   |
| 開 催 日 時       | 令和6年1月29日（月）<br>開会：14時00分 ・ 閉会：15時00分   |
| 開 催 場 所       | 行田市産業文化会館2階 第2会議室   |
| 出席者（委員）<br>氏名 | 田尻委員長、細井委員、長岡委員、根岸委員、大島委員、<br>高柳委員、樽見委員、長谷川委員   |
| 欠席者（委員）<br>氏名 | 鈴木委員、酒井委員   |
| 事 務 局         | 【都市計画課】<br>高橋部長、寺田課長、吉田副参事、井上主幹、芹澤主査、<br>栗田主任   |
| 会 議 内 容       | ◆議事<br>・ 行田市立地適正化計画（案）について<br>◆報告事項<br>・ 市民説明会開催報告<br>・ 市民意見募集（パブリックコメント）実施報告   |
| 会 議 資 料       | （資料名・概要等）<br>・ 次第<br>・ 【資料1】 行田市立地適正化計画（案）及び行田市地域公共交通計画（案）に関する市民説明会実施結果<br>・ 【資料2】 立地適正化計画に対する市民意見募集（パブリックコメント）実施結果について<br>・ 【資料3】 行田市立地適正化計画（案）<br>・ 【資料4】 立地適正化計画に係る届出の手引き<br>・ 【参考資料】 行田市地域公共交通計画（案） |
| その他必要事項       | 傍聴者2名   |

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等）  |
|-------|---|
| 事務局   | <p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> </ul>  |
| 田尻委員長 | <p><b>2 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田尻委員長よりあいさつ</li> </ul>   |
| 長岡委員  | <p><b>3 議事</b></p> <p><b>(1) 行田市立地適正化計画（案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料に沿って説明</li> <li>・市民説明会及びパブリックコメントの実施結果の報告を行った。</li> <li>・質疑</li> </ul> <p>先日の能登半島地震では避難所の防災備蓄品が不足していると報道されている。行田市の防災備蓄品は大丈夫なのか。</p> |
| 事務局   | <p>行田市において避難所の防災備蓄品が十分であるかについては、この場に資料がないため説明できないが、庁内で情報を共有し災害への備えを進めていきたい。</p>   |
| 大島委員  | <p>P70に都市浸水想定区域を指定検討中とあるが、指定された場所へはどのような対応をするのか。</p>  |
| 事務局   | <p>場所によっては洪水した際に3 m以上の浸水深が想定されている。一部ではあるが市街化区域内にも指定される可</p>   |

|             |  |
|-------------|--|
| <p>根岸委員</p> | <p>能性があると担当課から聞いている。都市浸水想定区域の対象となる中川・綾瀬川流域については、国や県が堤防整備や調節池整備等の治水対策を行っていく計画となっている。</p> <p>行田市の人口は2045年に約5万人となることが見込まれている。今更だが、人口が減少して5万人になった他市の状況を確認するなどの、情報を集めたほうが良かったのではないか。近隣都市に比べ行田市は高齢化率が高くなっている。行田市にあったイメージや行田市ならではの施策を実行して行ってほしい。</p> <p>また、住民説明会やパブリックコメントを実施したことだが、「参考にする」や「検討していく」といった回答が多いと感じる。せつかく意見を出してもらったのだから、もう少し積極的な回答にすると、今後意見を出しやすくなるのではないか。</p> |
| <p>事務局</p>  | <p>先日開催された行田まちなか再生エリアプラットフォーム・フォーラムで、持続可能な行田市になるにはどうしたらいいのかが議題となった。子どもが成長しても地元で働く場所が無いと、行田市に愛着はあるが外へ出て行ってしまっているとの意見があった。この流れを止めるためには、雇用の創出や他の場所から人を定住させる取組がこの3年程度で必要ではないかということになった。現在決定打はないものの、新たな施策展開が必要であると考えている。</p> <p>住民説明会への回答が抽象的になってしまったのは、初めて見た方には難しい計画であったことが原因である。もう少しイメージを伝えることができれば本計画に直接関わ</p>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>る意見を聞くことができたのではないかと反省している。</p> <p>また、本計画についての意見は少なく、農業や地域のお祭りなど本計画とは離れた意見が多かったため、抽象的な回答となってしまった。</p>   |
| 田尻委員長 | <p>国土交通省の立地適正化計画のポンチ絵やイメージ図を挿入するなど、最初に計画全体のイメージをもってもらうことを検討してもよいのではないか。</p>   |
| 事務局   | <p>立地適正化計画を公表するホームページ等にイメージしやすいポンチ絵などを掲載することを検討したい。</p>   |
| 田尻委員長 | <p>先ほど、行田市への愛着の話があったが、愛着は難しい問題で、居住者に聞いても愛着が無い場合も多い。人口を減らさないためには子育て世代に住んでもらう必要があり、そのために何をしていくか検討が必要である。あるいは事務局から話があったように他の地域から居住者を誘導していく取組が必要となっていく。</p> |
| 細井委員  | <p>行田市には働く場所が少ないのではないかと考えている。市街化調整区域についても企業の立地を可能にしているようにしていければ良いのではないかと思う。</p> <p>また、東京への通勤アクセス性を向上させることができれば行田に居住してくれる方も増えるのではないか。</p>                |
| 事務局   | <p>市長が企業誘致に力を入れており、行田市においては都市整備部が企業誘致の担当となっている。市内の幹線道路付近にも企業誘致の適地と考えられる土地があり、リーフレットを作成するなどして動いている状況である。即効性</p>  |

を考えると市が所有する土地の活用を行ってから、民地の所有者と連携し企業誘致を進めていきたいと考えている。

#### 4 その他

- ・ 2月5日に都市計画審議会において、意見聴取を行う予定である。
- ・ 行田市立地適正化計画の公表は3月31日を想定している。
- ・ 高橋都市整備部部長より、あいさつを行った。

#### 5 閉会